

# 仕事と生活の バランス

vol.33

ワーク・ライフ・バランス  
未来を託す あいことば

公益財団法人兵庫県労働福祉協会  
ひょうご仕事と生活センター



## contents

特集  
2-3

ワーク・ライフ・バランス実現に向けて  
アクションプランシートを活用しよう!!

- 4 センター制度活用事例 日鉄住金鋼板株式会社(西日本製造所尼崎地区)
- 5 クローズアップ ワーク・ライフ・バランス助成金
- 6 ひょうご仕事と生活センター オリジナルキャラクター誕生! / ワーク・ライフ・バランス関連書籍紹介
- 7 ひょうご仕事と生活の調和認定企業を募集しています  
県政トピックス 始めませんか?安心・安定のワンコイン福利厚生制度「ひょうごファミリーパック」
- 8 information ワーク・ライフ・バランス キャッチフレーズ募集中

# ワーク・ライフ・バランス実現に向けて アクションプランシートを活用しよう!!

ひょうご仕事と生活センターでは、ワーク・ライフ・バランス（WLB）を効率的に進めるためにアクションプラン（行動計画）を策定することを推奨しています。

このたび、センターのホームページにアクションプランについて分かりやすく解説したページを開設しました。こちらからは「アクションプランシート（行動計画書）」の様式がダウンロードできます。WLB 実現に向けてアクションプランシートをぜひ活用ください。

## アクションプランとは？ 理想の島に向かうための重要な“航海図”です。

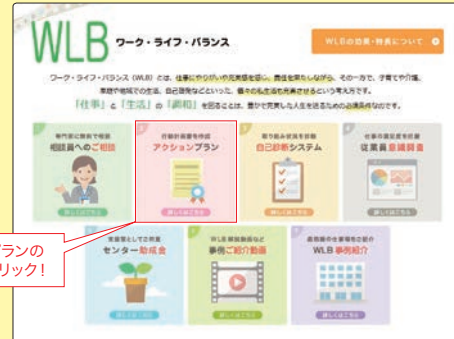
アクションプランには組織全体のビジョンや課題、その課題から生まれる背景、課題ごとの改善案、進捗管理者、進捗管理方法等を具体的に記載します。内容を明示することで、従業員同士が共有でき、より確実な改善が可能になります。

理想の姿（目的）を達成するために、何が課題で、どのような施策（手段）をとればよいかが明らかになれば納得感が得られ、従業員の意欲向上につながります。また、目標と期限を具体化することで、取組の検証を行うことが可能になります。

## アクションプランを策定しよう！

- step 1 推進を宣言する
- step 2 現状・課題を理解する
- step 3 理想の姿を設定する
- step 4 **アクションプランシートを作成する**

アクションプランシートは、センターのホームページからダウンロードできます。



## 【事例】働き方を見直し、残業を削減したい

**課題** 業務量が減らず、定時退社が守られない

**原因** 管理職が業務量を把握していない

**背景**

- ・部下の業務進捗状況を把握していない。
- ・管理職が多忙で、相談などの時間が取れない。

**改善策** 朝礼、昼礼、終礼等で、一日の業務状況や相談したいことなどを短時間で報告できるようにする。

朝礼では、一日の業務計画や業務遂行上の課題等を把握し、終礼では、残業者の確認とその残業予定時間の報告をしてもらいます。

ホワイトボード等で個々人の業務計画や退社時刻（朝礼時等に記入）を管理する方法もあります。

上記事例のほかにも、アクションプランのひな形の事例を多数掲載しています。センターのホームページをぜひご覧ください。

ひょうご仕事と生活センター アクションプラン

検索

# アクションプランシート作成の6つのポイント

ワークライフバランス実現に向けたアクションプランシート

グループ名: \_\_\_\_\_  
メンバー: \_\_\_\_\_

1 全体ビジョン	上手に働き、上手に休もう	
グループビジョン		

2	年 月に向けた目標(数値目標)	
---	-----------------	--

現状の課題	その原因	その背景	理想の姿	改善策
3	4		5	6
				To-Do① 期限 / まで
				To-Do② 期限 / まで
				To-Do③ 期限 / まで
				To-Do④ 期限 / まで
				進捗管理者
				To-Do① 期限 / まで
				To-Do② 期限 / まで
				To-Do③ 期限 / まで
				To-Do④ 期限 / まで
				進捗管理者
				To-Do① 期限 / まで
				To-Do② 期限 / まで
				To-Do③ 期限 / まで
				To-Do④ 期限 / まで
				進捗管理者
				To-Do① 期限 / まで
				To-Do② 期限 / まで
				To-Do③ 期限 / まで
				To-Do④ 期限 / まで
				進捗管理者

H28年6月	H28年7月	H28年8月	H28年9月	H28年10月	H28年11月	H28年12月	H29年1月	H29年2月	H29年3月
	現状把握	アクションプランの作成	アクションプランの発表	実行 (毎月)	進捗・達成状況のヒアリング			アクションプランの成果報告	

ポイント 1 **全体ビジョン**は、組織全体で向かっていくことができる理想の姿です。それを達成するために、さらにチーム(部・課)としてどのような理想の姿を目指していくのかを**グループビジョン**として記載します。  
【記入例】全体ビジョン…WLBが実現できる働きやすい職場づくり  
グループビジョン…無駄な残業をゼロにして、毎日イキイキと働くことができる職場づくり

ポイント 2 ①のビジョンを達成するために、**目標達成期間**を定め、**目標を数値化**します。そうすることで進捗状況を客観的に確認することができ、後に見直しを行うことができます。  
【記入例】月平均残業時間〇〇時間以内を〇〇年までに達成する。

ポイント 3 **現時点で認識できている課題**を2つ以上書いてみましょう。課題(問題)は、ビジョン達成に障壁となるものをできるだけ具体的に記述します。  
【記入例】会議が長く、必要以上に多い。

ポイント 4 課題が発生する**原因**と、それが起こる**背景**を考察して書きます。原因と背景が逆転してしまうことがあるので、「〇〇(背景)だから〇〇(原因)が発生し、〇〇(課題)が起きている」というように逆にしてもつじつまが合うかチェックしてみましょう。

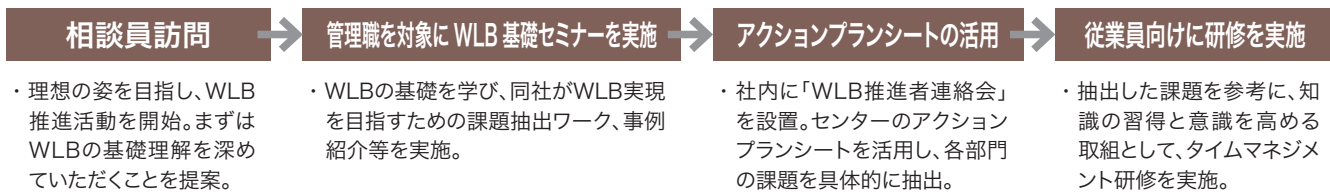
ポイント 5 上記④の課題の背景を解決した場合の**理想の姿**、どのような状態になるのがベストなのかを具体的にイメージして書きましょう。  
【記入例】一人で仕事を抱え込まず、チームで助け合えるようお互いの仕事の状況を共有する。

ポイント 6 改善策を確実に実行するために、**進捗管理者**を決めましょう。これまで習慣のないものは、管理者が繰り返し意識させなければなかなか定着しません。また、**期限**を決めることで達成度合いを見直すことができます。**To-Do**に記載する内容は4つでなくても問題ありません。意識的なことではなくて具体的な行動を記載するようにしましょう。  
【記入例】ノー残業デー、朝礼、面談シートの活用、進捗管理表の作成 等

日鉄住金鋼板株式会社（西日本製造所尼崎地区）は、2015年にひょうご仕事と生活の調和推進企業として宣言。働きやすい職場づくりを目指し、各部門長で構成する「WLB推進者連絡会」を設置し、ひょうご仕事と生活センターの制度を活用しながら、ワーク・ライフ・バランス（WLB）推進活動に取り組んでいます。



### センターの活用と取組の流れ



## 「働きやすい職場づくりを目指す」 — 部署の枠を超えた業務効率化の取組 —

同社は、「働きやすい職場づくり」を目指し、WLBの推進に取り組みたいと考え具体的にどのような計画で取り組むべきか悩んでいた時に、センターの相談員からセンターの支援内容や過去の取組事例を知りました。

まずは、社内キックオフを目的として、部長、課長、グループ長等の管理者を対象に「WLB基礎セミナー」を実施。その場で、「会議が多すぎる」「人材育成ができていない」など課題抽出のワークを行い、情報共有を図りました。

その後、他社の取組事例を参考に課長、グループ長で構成する「WLB推進者連絡会」を設置。月1回ミーティングを行い部署間で連携を図りながら、会社全体の超過勤務削減と業務効率化を図る取組を開始しました。同連絡会ではまず、各部署でどのような問題があるかを共有。次に、超過勤務削減に向けて具体的な数値目標を立て、アクションプランシートを活用し、課題の要因と理想の姿、その実現に向けた改善策を各部署で考え共有しました。

そして、それぞれの活動を充実させるため、労働時間削減への意識付けと、知識の習得のために「タイムマネジメント研修」を実施。研修には60人以上の社員が積極的に参加し、新たな考え方や知識を得ることができて良かったという声が多く聞かれました。

今後もアクションプランシートを活用しながら継続的に業務効率化の取組を行い、働きやすい職場づくりを推進していきたいと考えています。

### 実施した研修

#### 内容 タイムマネジメント研修



講師：辻 真吾氏

社会保険労務士、辻総合事務所 所長、ひょうご仕事と生活センター外部相談員、特定社会保険労務士、キャリアコンサルタント、産業カウンセラー、アンガーマネジメントファシリテーター

#### 講師のコメント

業務効率化の中でも特に「時間外労働をいかに削減して生産性を上げるか」ということに関しては、同社のみならず多くの企業でも課題となっています。この点、長年積み上げられてきた働き方や慣習などもあるのでなかなか一足飛びにはいきません。そこで今回はまず、意識改革のために気付きを促す内容の研修を行いました。

研修中の社員さんは皆さん非常に真剣で、前向きに取り組もうとしている姿勢が感じられました。このような同社なら、必ずWLBが実現できると感じました。

#### 担当相談員より

WLBを実現するためには、社内全体の意識を高め、課題に対して継続的に取り組む必要があります。そのためには具体的な達成目標とそれのための施策、さらにはいつまでやるか期限を決めて職場で共有しておくことが必要です。アクションプランシートを作成することで、それらが確実に、さらに、問題の原因が明らかになるので、より効果的な取組を行うことができます。  
(ひょうご仕事と生活センター アナリスト 西村 剛)

#### 日鉄住金鋼板株式会社 (西日本製造所尼崎地区)

事業内容 めっき鋼板・塗装鋼板の製造  
従業員数 250人  
所在地 尼崎市杭瀬南新町3-2-1  
TEL 06-6487-1702  
<http://www.nisc-s.co.jp/>

# ワーク・ライフ・バランス助成金

ひょうご仕事と生活センターでは、仕事と生活の調和を推進するための支援策として  
中小企業事業主の皆さんへ助成金をご用意しています。ぜひご活用ください。

助成金の申請には、「ひょうご仕事と生活の調和推進企業宣言」への登録が必要です

2017年4月1日から支給額が増額されました！

## ●中小企業育児・介護等離職者雇用助成金

結婚、妊娠、出産、育児、介護、配偶者の転勤により離職した人の早期再就職を目的として、対象の労働者を2017年4月1日以降に新規または再雇用した中小企業事業主に支給します。

- 【支給額】◇正社員で雇用：50万円※  
◇短時間勤務正社員で雇用：40万円※  
◇正社員以外（フルタイムに限る）で雇用：20万円  
※対象労働者が前職と同一企業に雇用され、国の両立支援等助成金（再雇用者評価処遇コース）の受給対象となる場合は、上記の金額から国の助成金支給額を差し引いた額とします



## ●中小企業育児・介護代替要員確保支援助成金

育児・介護者の就業継続を支援するため、育児・介護による休業取得や短時間勤務制度の利用を促進することを目的として、従業員の育児・介護休業や、育児・介護による短時間勤務に対して代替要員を新たに雇用した中小企業事業主に支給します。

- 【支給額】◇休業コース：育児・介護休業期間中、代替要員に支給した基本給の2分の1  
◇短時間勤務コース：育児・介護による短時間勤務中、代替要員に支給した基本給のうち、短縮した時間分の2分の1  
※どちらも月額上限10万円、総額上限100万円

「中小企業育児・介護代替要員採用決定報告書（様式〔休〕〔短〕第1号）」の提出はお早目に！

### ■休業コース（様式〔休〕第1号）

代替要員を雇用、かつ育児休業取得者の出産後または  
介護休業取得者の介護休業開始後 3カ月以内

### ■短時間勤務コース（様式〔短〕第1号）

代替要員を雇用、かつ短時間勤務制度利用者の短時間勤務開始後 3カ月以内

## ●仕事と生活の調和推進環境整備支援助成金

女性や高齢者等の職域拡大および多様で柔軟な働き方を促進することを目的として、職場環境整備を行った中小企業事業主に支給します。

- 【支給額】対象経費の2分の1以内（上限200万円）  
【対象事業】◇女性が少ない、または男性に比べて少ない職場に新たに女性を雇用、配置するための専用施設整備  
工事 ※男性の職域拡大も対象  
⇒専用トイレや更衣室、シャワー室の整備  
◇高齢者等の職域拡大のための安全対策工事等  
⇒手すり設置や段差の改善工事、負担軽減補助機器設置（高齢者等専用のものに限る）  
◇多様で柔軟な働き方を導入するための職場環境整備  
⇒在宅勤務システムの導入、事業所内託児スペースの整備



ひょうご仕事と生活センターのホームページから、各種申請様式や制度の内容について詳しく説明している「助成金の手引き」がダウンロードできます。ぜひご利用ください。

ひょうご仕事と生活センター 助成金

検索

## ひょうご仕事と生活センター オリジナルキャラクター誕生!

このたび、ひょうご仕事と生活センターにオリジナルキャラクター「WLB7」が誕生しました。ワーク・ライフ・バランスを推進する7人の社員が、皆さんにワーク・ライフ・バランスをより身近に感じてもらえるよう活躍していきます!

- ペンギン：夫婦共働きで協力しながら子育てをしている  
明るいキャラでムードメーカー
- さる：親の介護をしながら職務に励んでいる  
チームがうまく回るよう常に気を配っている
- くま：テレワークを利用して在宅勤務をしている  
やさしい性格でチームの母親的存在
- ライオン：WLB担当  
皆からの信頼も厚いリーダー的存在
- みつばち：毎日、元気に飛び回っている  
女性社員のリーダーであり初の女性役員候補
- ぞう：再雇用制度を利用しているベテラン  
若手社員への技能の継承に力を入れる
- カエル：フレックスタイムを利用している  
地元の合唱団に参加し、地域活動にも貢献



## READ

### ワーク・ライフ・バランス 関連書籍紹介



#### 「改訂版 ワークライフバランス 考え方と導入法」(2010年3月刊行)

著者は、働きながら子育てができる日本社会をつくることを目指す、組織人事コンサルタント。WLB導入が必要とされてきた背景や歴史をはじめ、WLBの基本的な知識と、導入事例や進め方とメニューの紹介、基本データとなる統計資料も掲載。WLBの入門書ともいえるが、今後問題となる介護とWLBにも言及しており、WLBが経営戦略上、短期的にも長期的にも大きな武器になることも示している。

著者：小室 淑恵 発行：日本能率協会マネジメントセンター



#### 「仕事の問題地図」(2017年3月刊行)

#### 「職場の問題地図」(2016年10月刊行)

表紙を開くと目に飛び込んでくる「問題地図全体マップ」には職場の思い当たることがいくつも書かれている。それぞれの問題を解決するには大きな努力が必要だろうが、まずは、この地図で自分の職場、仕事の問題点を把握、整理するだけでも意味がある。「WLBを進めたいけれど何かちくはぐでうまくいかない」「一応、WLBを導入したことになっているがしっくりこない」という場合にも参考になる。

著者：沢渡 あまね 発行：技術評論社

※上記書籍はひょうご労働図書館で貸出しています

## ひょうご労働図書館～どなたでもご利用いただけます

労働問題・労働分野の専門図書館として、図書・資料の閲覧・貸出・レファレンスサービスを提供しています。人事・労務、自己啓発、資格取得等に関する各種図書・資料に加え、研修にも利用できるDVDなども取りそろえています。

また、週刊ダイヤモンド、プレジデント、日経ウーマン等の雑誌や、人気作家の図書も貸出できますので、ぜひ一度お越しください。

神戸市中央区下山手通 6-3-28 兵庫県中央労働センター 1 階

TEL 078-367-3895 FAX 078-367-3896 E-mail info@hyogo-roudou.jp

ホームページ <http://hyogo-roudou.jp/>

開館時間/月～金曜 10:00～18:00、土曜 10:00～17:00

休館日/日曜・祝休日、館内整理日(毎月第2月曜、※ただし祝休日等と重なった場合は翌日)、年末年始(12月29日～1月3日)、蔵書整理期間(毎年1週間程度、不定期)



「宣言企業」の次は「認定企業」を目指しましょう!

## ひょうご仕事と生活の調和認定企業を 募集しています

### 認定企業とは?

「仕事と生活の調和」実現に向けて、多様な働き方の導入や、仕事と家庭生活の両立の促進、多様な人材の活用等に向けた取組を実施し、一定の成果を収めている企業・団体を認定します。

### 認定されると?

- ・ハローワークの求人票や求人広告などでPRできます。
- ・認定企業を対象にしたセミナーで高度な支援を受けることができます。

### 認定対象は?

「ひょうご仕事と生活の調和推進企業宣言」に登録されている県内事業者で、「ワーク・ライフ・バランス Web 自己診断システム」の総合評価で、おおむね星印が2つ以上である場合、認定対象とします。

### 募集時期は?

1年度に2回募集しています。

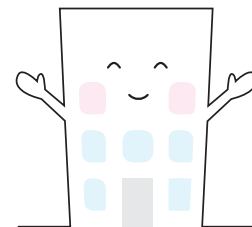
#### 【本年度スケジュール】

- 第1回募集：2017年7月14日(金)締切
- 第2回募集：2017年12月ごろの予定

企業説明会で  
認定企業だと伝えた  
ところ、多くの学生が  
集まってくれた。

認定  
されたことで、  
従業員の意欲が  
高まった。

認定企業の声



## 始めませんか? 安心・安定のワンコイン福利厚生制度 「ひょうごファミリーパック」



「ひょうごファミリーパック」では、中小企業で働く皆さんを応援するため、兵庫県内の中小企業に勤務する従業員に対して、1社単独では実施困難な大企業並みの福利厚生を少ない負担で提供しています。知れば知るほど、お得がいっぱいです。ぜひご加入ください。

会費：1人2カ月で1,000円(実質月会費1人500円)

給付	・12種類の慶弔見舞金(成人祝金、結婚祝金、出産祝金、小学校入学祝金、中学校卒業祝金、勤続報奨金、会員奨励金、退職餞別金、傷病見舞金、死亡弔慰金、労災遺児見舞金、災害見舞金) ※給付額：3,000円～7万円
福利厚生	・年間2万7,000円分の利用券(金券)の進呈(旅行・宿泊・食事クーポン、スポーツ・レクリエーション施設利用補助) ・コンサート、野球、映画館の鑑賞券等の割引斡旋販売 等
融資	・日常の生活費や自動車購入費等を年率1.2%の低利率融資

### パート、アルバイトさんの会費を助成します!

新たにファミリーパックに加入する非正規雇用労働者の会費の2分の1(1人最大3,000円)を最長3年助成します。詳しくはファミリーパックのホームページをご覧ください。

年間会費 **6,000円** (1,000円×6期) × **2分の1** (最大) × **3年** (最長) を助成  
申請期間：2017年4月1日～2018年2月28日

## ワーク・ライフ・バランス キャッチフレーズ募集中

11月のワーク・ライフ・バランス（WLB）推進月間に向け、WLBの取組を促進するキャッチフレーズを募集します。グランプリ作品はポスターにするなど、広く活用します。皆さんからの応募をお待ちしています！

- 【内容】
- ・ワーク・ライフ・バランスの取組を促進するもの
  - ・ワーク・ライフ・バランスの趣旨を簡潔に表現したもの
  - ・ワーク・ライフ・バランスの理解が進むもの 等

【対象】兵庫県内に在住・在勤・在学の人

【応募方法】①キャッチフレーズとその説明 ②住所 ③氏名 ④年齢 ⑤性別 ⑥電話番号 ⑦メールアドレス ⑧勤務先または学校名 を応募用紙かはがきに記入の上、センターへ郵送、FAX または Eメールで応募  
※応募用紙は、ひょうご仕事と生活センターのホームページからダウンロードできます

【締め切り】2017年8月4日（金）



【表彰】

グランプリ（兵庫県雇用対策三者会議賞）……………1点（副賞3万円）  
準グランプリ（兵庫労働局長賞・働き方改革賞）………1点（副賞1万円）  
佳作（ひょうご仕事と生活センター長賞）……………2点（副賞5千円）



〈昨年のポスター〉

過去の  
受賞作品

2016年 ワーク・ライフ・バランス 未来を託す あいことば  
2015年 明るく、元気に、前向きに！ WLB進める“ええ会社”

### センターの主な事業

#### ワンストップ相談

ワーク・ライフ・バランスに関する相談や質問を受け付けています。面談のほか、電話やメールでも対応可能です。

#### 研修・実践支援の実施

相談に応じて、ワーク・ライフ・バランス実現推進に向けた研修や担当者への実践的なアドバイスを実施します。

#### 相談員の派遣

課題やテーマに応じた専門家を無料で派遣し、ワーク・ライフ・バランスについての要望に最適なサポートを提案します。

#### 企業助成

ワーク・ライフ・バランスの実現推進を支援するための各種助成金を用意しています。

公益財団法人 兵庫県勤労福祉協会

## ひょうご仕事と生活センター

〒650-0011

神戸市中央区下山手通 6-3-28 兵庫県中央労働センター 1階

TEL 078-381-5277

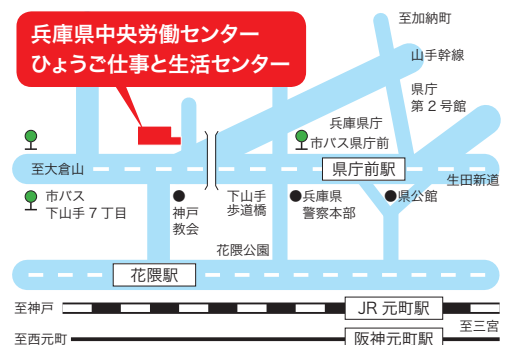
FAX 078-381-5288

E-mail info@hyogo-wlb.jp

開館 月～金曜 9:00～17:00（祝休日、年末・年始を除く）

<http://www.hyogo-wlb.jp/> ひょうご仕事と生活センター

携帯、  
タブレットから  
アクセス  
できます。



- 神戸市営地下鉄「県庁前」駅西出口③から西へ徒歩5～7分
- 神戸高速鉄道「花隈」駅東口から北へ徒歩5～7分
- JR「元町」駅西口から西へ徒歩10～15分
- 阪神電鉄「元町」駅西口から西へ徒歩10～15分

検索